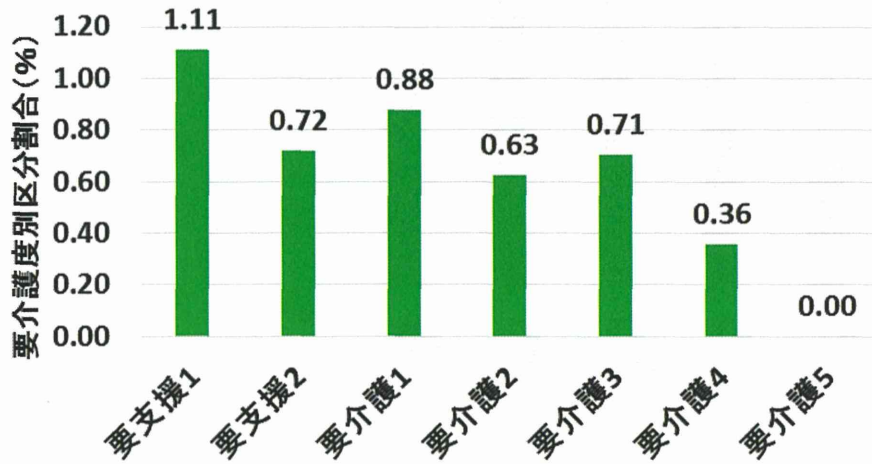
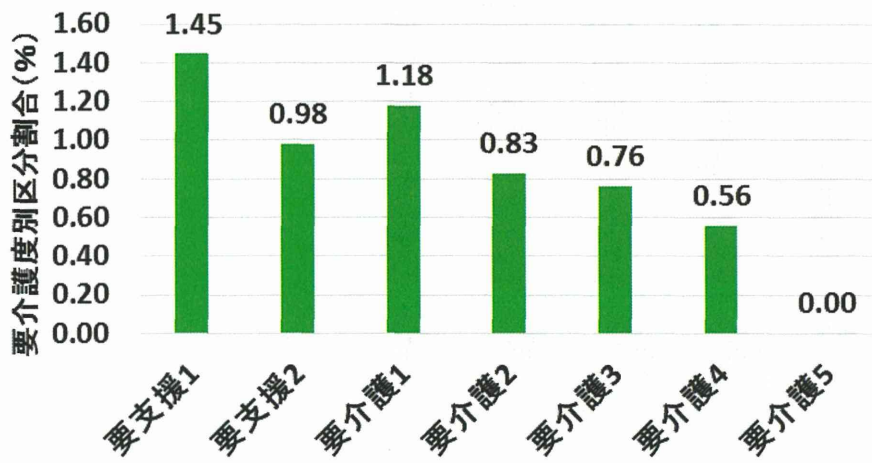


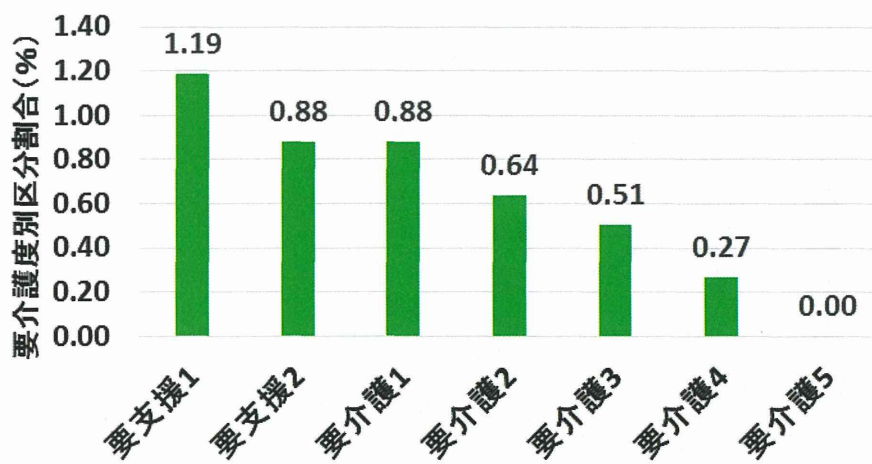
④改善【70-74歳】



④改善【75-79歳】



④改善【80歳以上】



業務項目名：

- ② 地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発
a. JAGES-HEARTのアップデート

地域診断システム＝JAGES-HEARTの改良報告について

担当責任者 近藤克則 千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門 教授

研究要旨

【目的】JAGES-HEARTには、格差指標、各市町村の小地域地域診断書、一小地域あたりのn数を考慮したフィルタの追加が課題としてあった。本研究は、これらの課題解決にむけたJAGES-HEARTの改良を目的とする。

【方法】本研究では、JAGESプロジェクトおよび日常生活圏域ニーズ調査で収集されたデータを用いた。対象市町村は、JAGES30市町村と200BMに参加する67市町村の合計97市町村であり、格差指標については、36指標を男女別にSIIおよびRIIを算出しJAGES-HEARTに搭載した。

【結果・結論】格差指標、小地域地域診断書、フィルタ項目を追加し、JAGES-HEARTが改良され、より信頼性・妥当性の高い地域診断システムの開発が進んだ。

A. 研究目的

<背景>

JAGES(Japan Gerontological Evaluation Study)プロジェクトでは、市町村が主体的に地域の課題や、課題を解決するための手がかりを発見するためのツールとして、地域診断システム＝JAGES-HEART(Japan Gerontological Evaluation Study-Health Equity Assessment and Response Tool)を開発してきた。JAGES-HEARTには、以下の4つのツールがある。

① 市町村間比較ツール

市町村ごとの値から、該当する市町村の相対的位置を地図やグラフで把握できる

② 市町村内比較ツール

該当市町村内（例えば小学校区レベル）における市町村内の相対的位置が地図やグラフで把握できる。

③ 手がかり発見ツール

2つの指標間の関連を、地域相関分析で検証することができ、ある課題に対する手がかりの発見につながるツールである。

④ 地域診断書

一画面で複数の指標を表示し、該当市町村の相対的位置が把握できる。①市町村間比較ツールと②市町村内比較ツールは、一画面で一つの指標しか表示できない。地域診断書は複数の指標を一度に表示することができ、指標全体の相対的位

置を把握したい場合は有効なツールであるが、地図表示機能は搭載されていないものである。

JAGES-HEART の指標は、専門家の意見や、予測妥当性の検証から信頼性・妥当性が考慮された次の 36 指標が搭載されている。

1) 運動器機能低下 2) 低栄養 3) 口腔機能の低下 4) 閉じこもり 5) 認知機能の低下 6) 虚弱 7) うつ予防 8) IADL 9) 知的能動性 10) 社会的役割 11) ボランティア参加 12) スポーツの会参加 13) 趣味の会参加 14) 老人クラブ参加 15) 独居者の割合 16) 健診受診 17) 飲酒する者の割合 18) 喫煙する者の割合 19) 1 日の平均歩行時間が三十分未満の者の割合 20) 食事の用意が出来ないかつ独居 21) 買い物が出来ないかつ独居 22) 借家率 23) 緊急通報サービス必要 24) 見守り 25) 配食 26) 外出支援 27) グリーフケアニーズ 28) 自治会活動 29) 生活基盤 30) 生活保護 31) 通院補助 32) 就労 33) 情緒的サポート受領 34) 情緒的サポート提供 35) 手段的サポート受領 36) 情緒的サポート提供

以上のような JAGES-HEART の開発を進めてきた。しかし、市町村担当者と研究者と共同で開催した共同研究会で、JAGES-HEART についてのフィードバックを得たところ、地域の課題が見えるようになり、有効であるという声がある一方で、格差指標の搭載や市町村ごとの小地域地域診断書の作成、フィルタ項目の追加（一小地域あたりの n 数）などの改善点が挙げられた。

<目的>

そこで本研究では、JAGES-HEART の改良のため、格差指標、小地域地域診断書、フィルタ項目を搭載することを目的とする。

B. 研究方法

JAGES-HEART の改良のために用いたデータは、JAGES プロジェクトおよび日常生活圏域ニーズ調査（以下 200BM）で収集されたデータである。対象市町村は、JAGES30 市町村と 200BM に参加する 67 市町村の合計 97 市町村で、小地域数は 1185 である。

格差指標について、先に示した 36 指標の格差勾配指数 Slope Index of Inequality(以下 SII) と格差相対指数 Relative Index of Inequality(以下 RII)を男女別に算出した。

SII とは、社会経済的に最も困窮している地域と最もゆとりがある地域におけるリスクの差であり、RII とは、SII を全体の平均値で除した値である。

（倫理面の配慮）

本研究のプロトコルは東京大学医学部倫理審査委員会の承認を得た（審査番号10555）。

C. 研究結果

格差指標を搭載した JAGES-HEART の市町村間比較ツールの結果（SII:図1、RII:図2）、小地域地域診断書結果（図3）、および 200BM の一小地域あたりの n 数を 100 以下に限定した手がかり発見ツールの結果（図4）を 4 頁以降に示す。結果画像は、専用サーバーにアップロードした後のものであり、市町村名が表示され個別性の高い指標が搭載されている場合は、パスワード設定により閲覧が制限されている。

D. 考察

本研究による JAGES-HEART の改良により、格差指標 SII および RII、小地域地域診断書、フィルタ項目が改良された。

格差指標については、モニタリングの評価

指標として英国や欧州連合では推奨されているが、市町村担当者が格差指標である SII や RII を算出することは困難であった。今回 JAGES-HEART に搭載したことにより、市町村担当者でも容易に地域の分析を行うことが可能となった。

小地域地域診断書について、これまでの地域診断書は、市町村間比較の地域診断書であり、特定の市町村内(例えば小学校区レベル)の比較はできなかった。そのため、より小さいレベルの地域診断が困難であったが、小地域地域診断書が搭載されたことで、市町村内の複数の指標における相対的位置を把握できるようになり、より詳細な地域診断が可能となった。

フィルタ項目の追加については、小地域あたりの n 数が少ないことで相関分析の結果が安定しない(図 5)ということが検証されており、小地域 n 数が 50 以上、100 以上と増えるごとに、相関分析が安定した結果となった。この検証結果を根拠に、フィルタ項目に n 数 50 以上、n 数 100 以上を追加した。

フィルタ追加後の JAGES-HEART 地域相関分析について、閉じこもり割合とスポーツの会参加割合:高齢者全体で分析したところ、n 数を限定しない場合は相関係数-0.48、n 数を 50 以上に限定した場合は相関係数-0.53、n 数を 100 以上に限定すると-0.59 となり、相関は強くなった(図 4 は n 数を 100 以上に限定した結果を示している)。これは一小地域あたりの n 数が少ないと、サンプルが 1 増減することで、割合が大きく変化することがあるため、このような相関係数の変化があると考えられる。

本研究により、地域診断システムである JAGES-HEART の改良が行われ、より信頼性・妥当性が高い地域診断システムの開発が

進んだ。

E. 研究発表

1. 論文発表
特になし
2. 学会発表
特になし

F. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3. その他
特になし

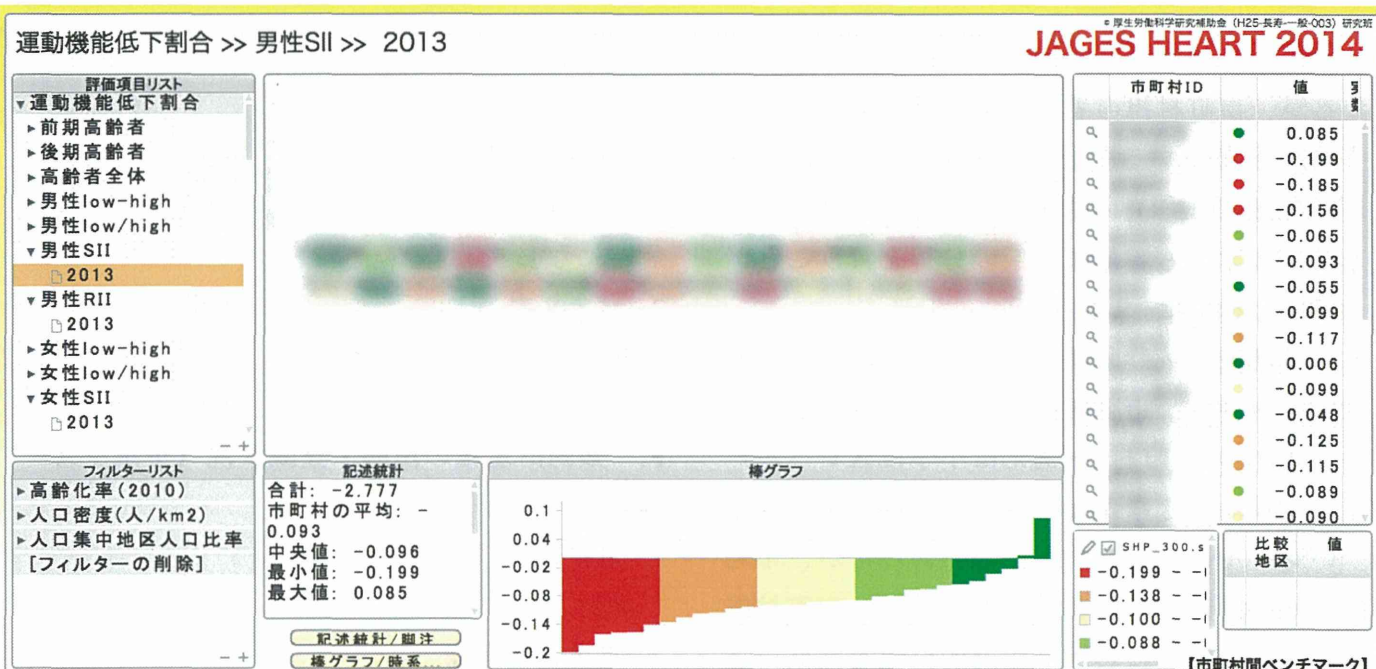


図1 男性における運動機能低下の格差勾配指数 Slope Index of Inequality(SII)

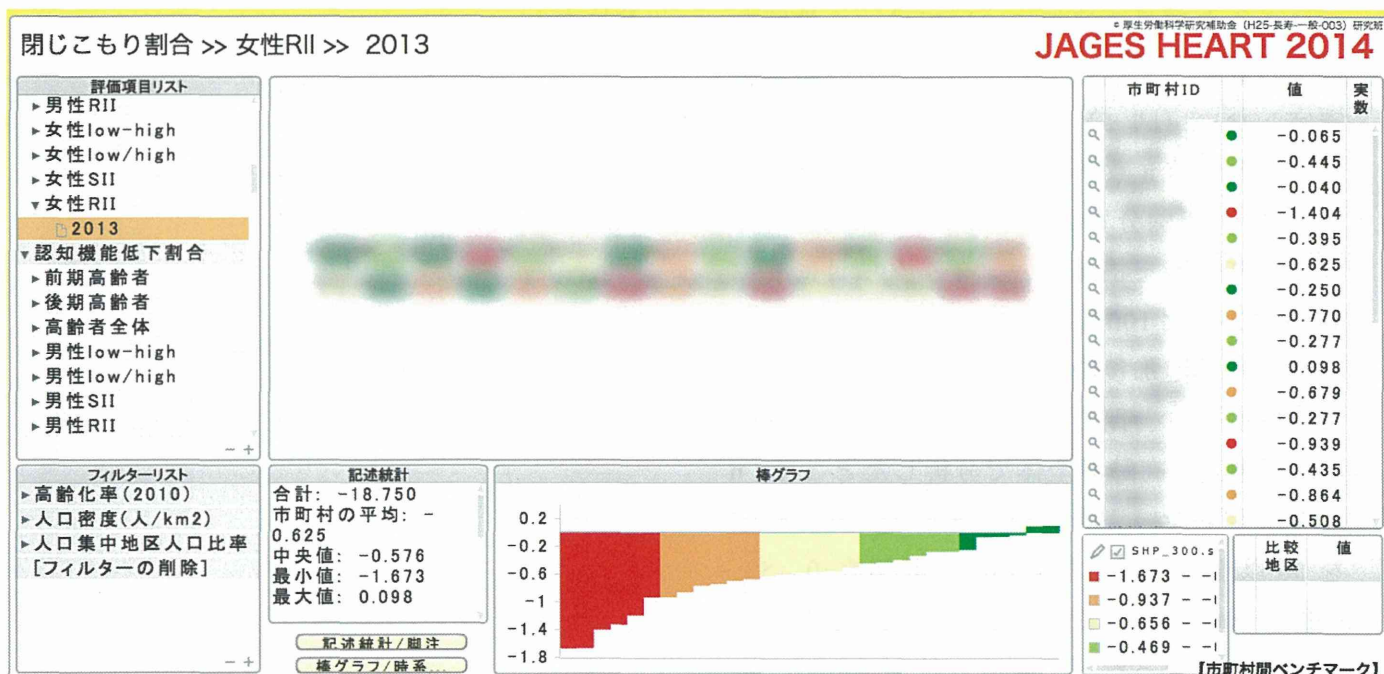


図2 女性における閉じこもり割合の格差相対指数 Relative Index of Inequality(RII)

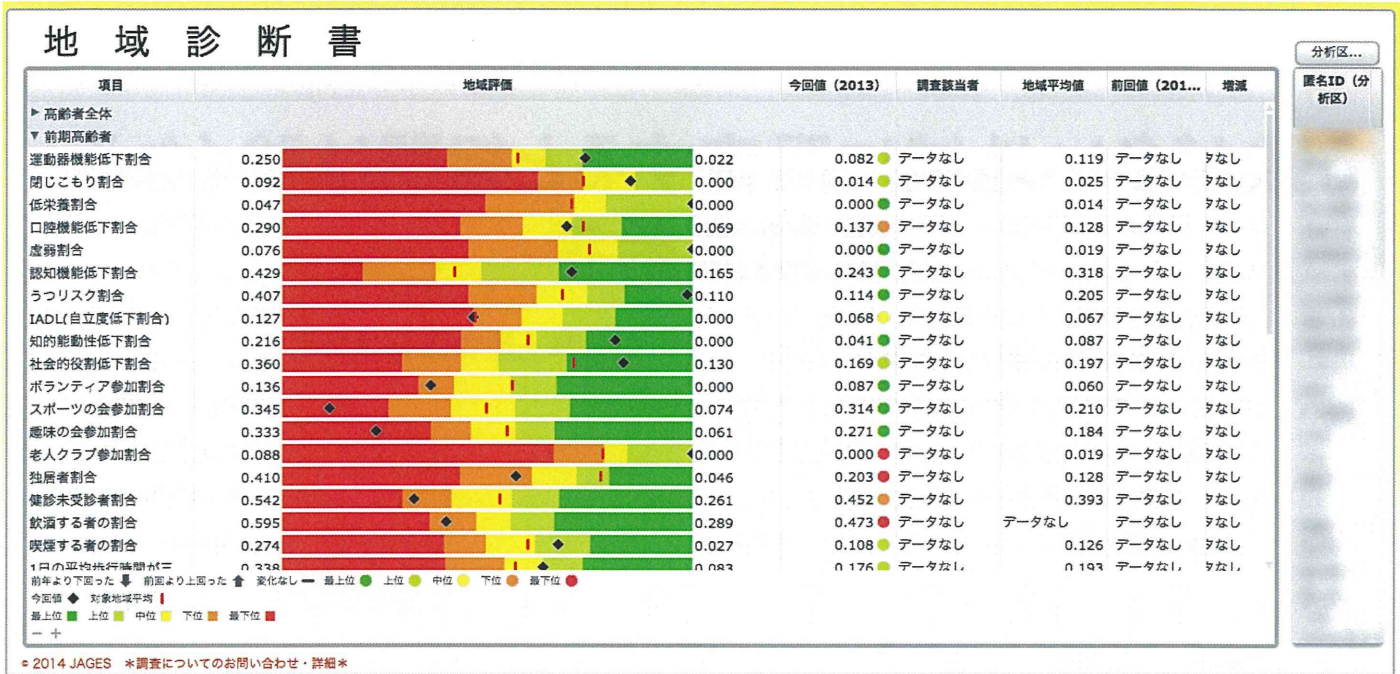


図3 A市における小地域地域診断書(前期高齢者)

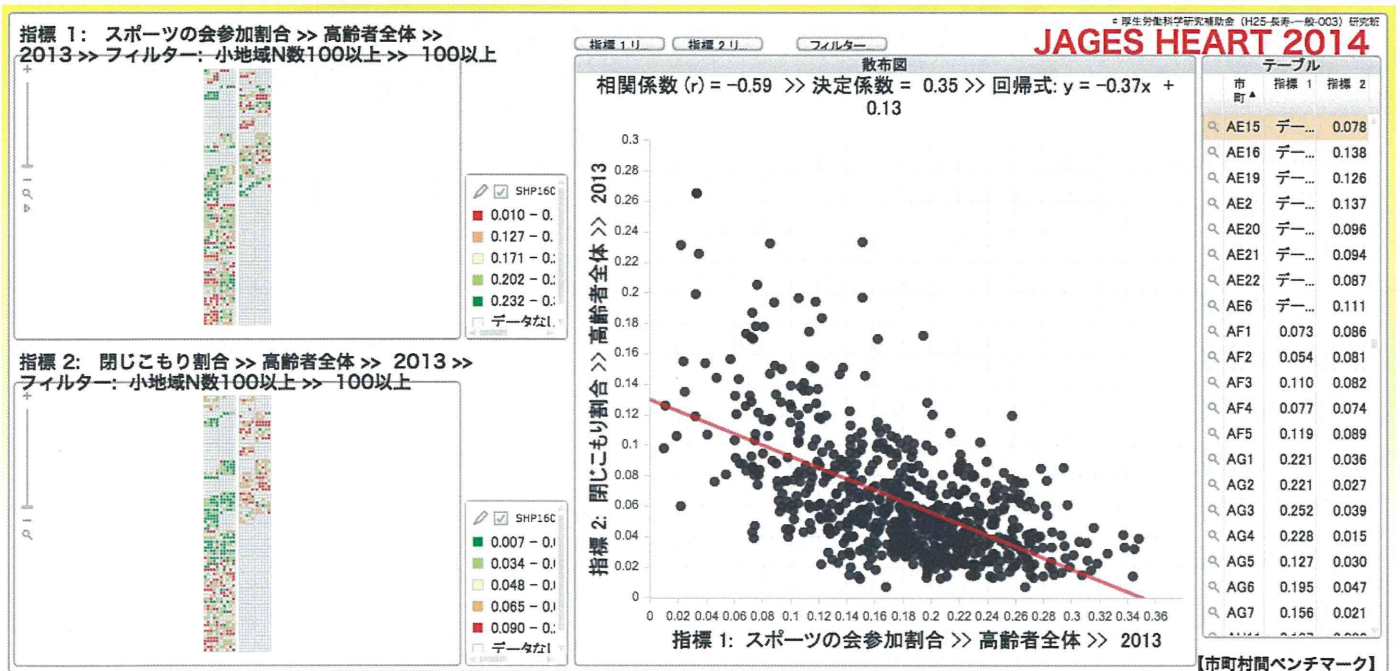


図4 200BM 小地域の手がかり発見ツールを用いた分析: 1 小地域あたりの n 数 100 以下に限定した閉じこもり割合とスポーツの会参加割合の関連

n数が多い地域に限定すると相関は強くなる 後期高齢者

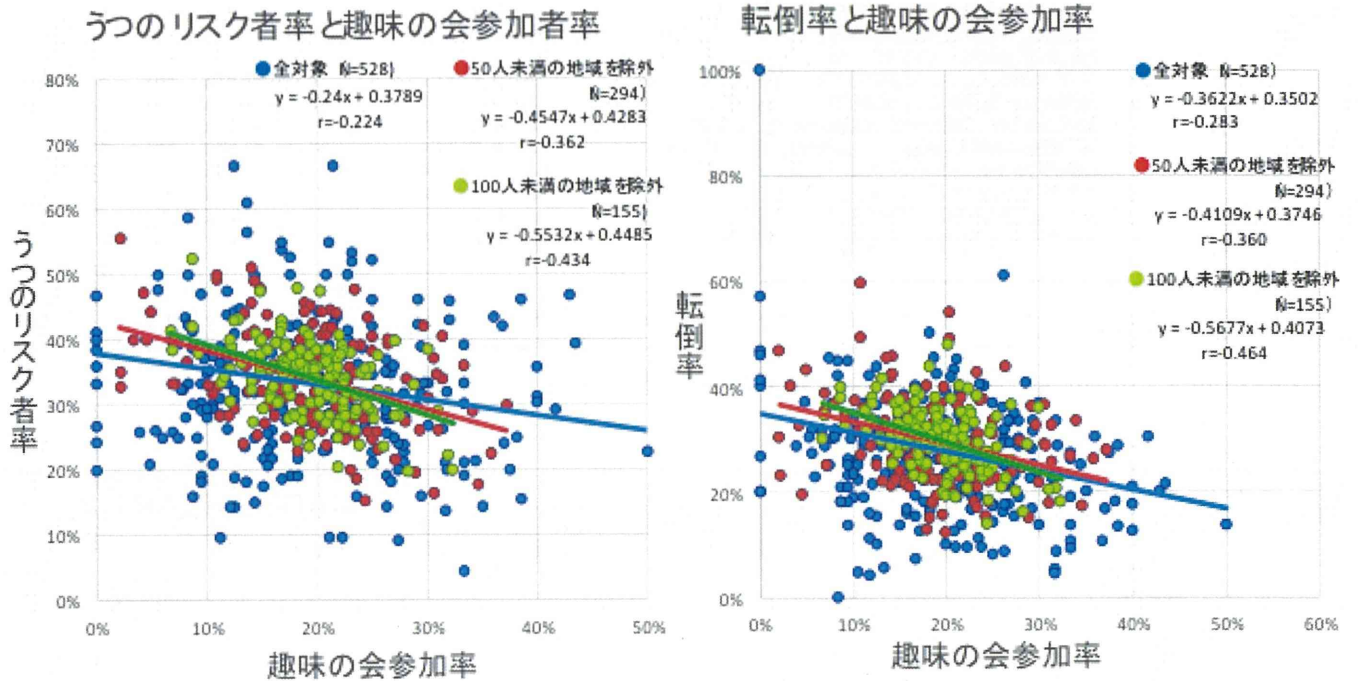


図5 一地域あたりの n 数の違いによる相関関係の違い

厚生労働科学研究委託費（長寿科学研究開発事業）

委託業務成果報告（業務項目）

業務項目名：

- ② 地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発
b. 介入手法の全国展開に向けた関係者の連携枠組み作り

介入手法の全国展開に向けた関係者の連携枠組み作り：初年度進捗状況の報告

研究協力者	芦田 登代	東京大学大学院医学系研究科	特任研究員
研究協力者	長谷田 真帆	東京大学大学院医学系研究科	博士課程
担当責任者	近藤 克則	千葉大学予防医学センター	教授
業務主任者	近藤 尚己	東京大学大学院医学系研究科	准教授

研究要旨

【目的】地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発に向けて、介入手法の全国展開に向けた関係者の連携枠組み作りを進める。

【方法】初年度は本研究への各市町村の担当者と研究者とのコミュニケーションを円滑にするための枠組み作りを目標とした。

【結果】JAGES参加32市町村のうち、15の市町村において、各市町村担当の研究者と市町村の担当者のタイアップによるデータの活用を開始した。また、関係者が参加するメーリングリストおよび共有ウェブサイトを立ち上げ、市町村間及び研究者間のピアカウンセリング効果を期待した仕組みを構築した。

A. 研究背景と目的

本研究班全体の目的は、地域診断データを活用して地域づくり型の健康増進と健康格差対策を進めるための実践的エビデンスを提供することである。この達成のためには、多様な特性を持つ全国の調査参加市町村との密接な協力体制のもと、地域診断から介護予防施策の計画立案・実施・評価までのプロセスをパッケージ化することが求められる。本報告では、そのための市町村担当者間・研究者間の連携を深めるために進めた枠組み作りについて報告する。

対象は、2013年度に実施したJAGESの「健康とくらしの調査」に参加した30市町村および2010年に参加した市町村のうち2市町村、以下に列挙した32市町村である。

表1：対象市町村

市町村名
北海道東川町
北海道東神楽町
北海道美瑛町
青森県十和田市
宮城県岩沼市
新潟県新潟市

B. 研究計画・方法

千葉県柏市
神奈川県横浜市
山梨県中央市
山梨県早川町
愛知県名古屋市
愛知県東海市
愛知県大府市
愛知県知多市
愛知県東浦町
愛知県半田市
愛知県常滑市
愛知県武豊町
愛知県美浜町
愛知県南知多町
愛知県碧南市
愛知県西尾市
愛知県豊橋市

愛知県田原市
三重県度会町
奈良県十津川村
兵庫県神戸市
香川県丸亀市
長崎県松浦市
熊本県御船町
沖縄県今帰仁村
沖縄県南城市

(倫理面の配慮)

「健康とくらしの調査」は日本福祉大学の倫理委員会の承認を得て、各市町村との間で定めた個人情報の扱いを遵守している。本研究のプロトコルは東京大学医学部倫理審査委員会の承認を得た(審査番号10555)。

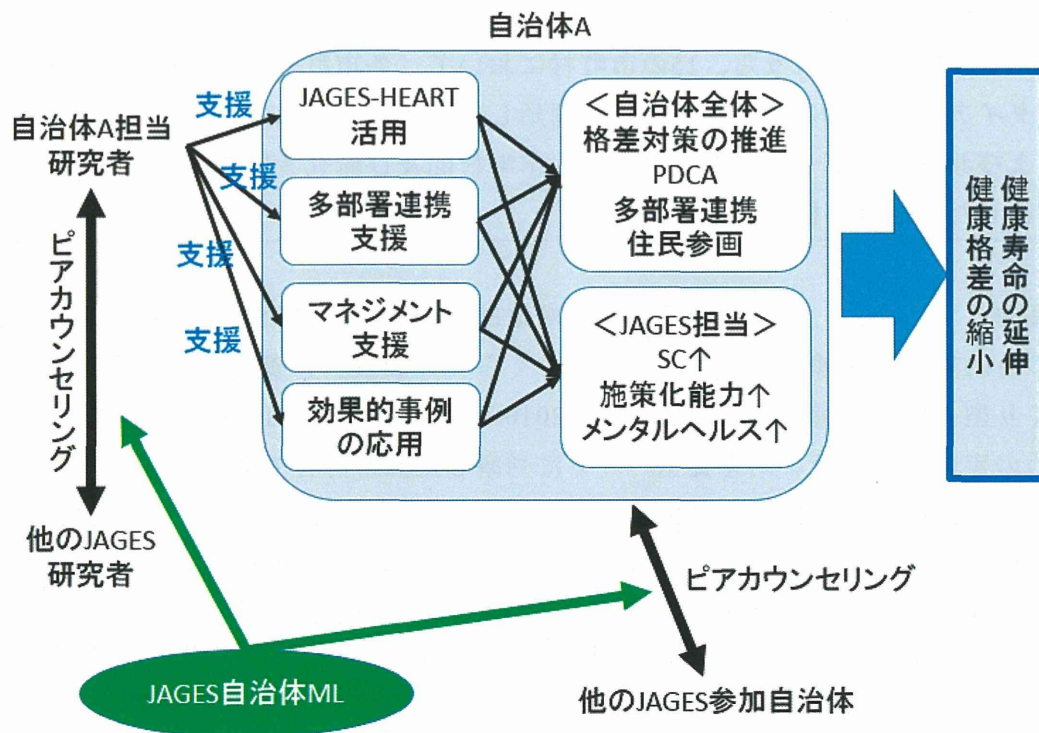


図2 市町村におけるデータ活用と介護予防のマネジメントの支援との枠組み
(SC: ソーシャル・キャピタル)

JAGES参加市町村同士、またその担当の研究者同士が交流し、互いのノウハウについてピアカウンセリングを行うためのプラットフォームとして、メーリングリストやウェブサイトを活用する。

C. 結果

市町村のJAGES担当者とJAGESの主要な研究者を対象として、メーリングリストとインターネットのホームページを活用したオンライン・コミュニティを設置した。

まず、2014年10月に「JAGES参加市町村連携メーリングリスト」を立ち上げた。メールアドレスはrenkei.ml@jages.net。登録の可否および登録アドレスについて、事前に32市町村関係者すべてに確認をしてから稼働させた。メーリングリストでは、市町村間同士および市町村介入研究者同士のピアカウンセリングをめざして運用を開始した。

メーリングリストを活用して、JAGES事務局からは「JAGES参加市町村連携メーリングリスト・ニュースレター」として2014年12月からメールニュースを流し始めた。

- ◇ 介護予防に役立つ情報：JAGESプロジェクト参加市町村で実施した「健康とくらしの調査」から明らかになったことや、JAGES地域診断書の使い方、活用例、介護予防まつわる幅広い情報の提供を行っている（例えば、政府統計や介護予防に関する資料など）。
- ◇ 介護予防に関するグッド・プラクティス事例を事務局が収集して紹介している。例えば、多部門連携や地域サロン設置の成功例、また成功の“コツ”等である。
- ◇ 多部署連携会議のファシリテーション法

の紹介

- ◇ 介護予防に関するイベントやワークショップの案内
- ◇ JAGESプロジェクトに対する要望の収集
- ◇ メンバー紹介

本研究報告書の最後に、これまでに送信したメールニュースの内容を記す。

ホームページ（図2）については、研究内容や班メンバーの紹介、グッド・プラクティスの紹介等を行っている。多部門連携で使用した時の資料や住民ワークショップで活用した資料などの掲載を計画していたが、資料によっては市町村独自の情報が入っており、公表するには情報保護の問題から課題が残っている。今後の予定としては、メーリングリストと連動させ、様々な情報を集約させて、市町村関係者が施策実施の際のアイデアを収集するデータソースの場としていく計画をしている。



データに基づき地域づくりによる 介護予防対策を推進するための研究

厚生労働科学研究委託費(長寿科学研究開発事業)
【研究代表者】近藤尚己(研究機関: 東京大学)2013.4~2014.3
【研究課題名】データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究



研究紹介

メンバー

研究業績

お知らせ



ようこそ/
健康なまちづくり
研究室へ

近藤尚己のホームページへ



2014年10月

「自治体施策に対するJAGESプロジェクトの効果評価のための調査」にご協力頂き、ありがとうございました!

★ 新しい健康日本21へのヒントのご紹介★

日本中の各自治体で行われている事例を、関係者の声から拾い上げた事例集が保健師ジャーナルで特集されました。
12月号: 市民「健康づくりサポーター」との協働で進めるお口の健康づくり 神奈川県藤沢市における取り組み。
*保健師ジャーナル 70(12): 1092-1097.

10月号: 地域で生き生き暮らすための高齢者の健康保持活動の推進 「たすけあい名古屋」の活動。
*保健師ジャーナル 70(10): 896-903.

9月号: 地域診断を起点とした地域住民や関係機関との協働のまちづくり 介護予防Webアトラスを活用した松浦市の試み。
*保健師ジャーナル 70(9): 812-816.

8月号: 官民協働「医療と介護の連携のかたち」DVD制作プロジェクト 豊橋市における社会環境の質に着目した創発。
*保健師ジャーナル 70(8): 710-717.

6月号: 介護予防運動教室とウォーキング教室を契機としたソーシャル・キャピタル形成 市民の行動変容が行政を動かし、まちづくりにつながる。
*保健師ジャーナル 70(6): 514-521.

詳細は、こちらをクリック

Copyright © JAGES 2014- 2015 All rights reserved

図2 ホームページの画面

D. 考察

予定通り、ウェブコミュニティやメーリングリストを立ち上げ、運用を開始した。

各市町村のグッド・プラクティス等の共有についての課題として、それぞれの市町村が、自身の小地域別のデータなどを公表することに対して抵抗があったり、市町村内での決裁が取れない等の理由で、地域診断結果やグッド・プラクティス等の事例を詳細に公表することが難しい場合が多々あり、情報の公開の仕方に工夫が必要であり、資料の共有が難しいことがあげられる。情報を公開する際はあらかじめ市町村担当者へ確認をとりながら進めるが、少しずつ情報公開の幅を広げていくような工夫が今後求められる。

メーリングリストの運用に当たっては、登録者情報が不明瞭なため、投稿しにくいという感想が届いた。メールニュースを通じて、登録市町村の案内を流したがそれでは不十分であったため、市町村連携メーリングリストを使って、研究班メンバーの紹介をリレー方式での実施を試みている。また、次年度にも市町村関係者と研究者の共同研究会の開催を予定しており、実際に顔を合わせることによって、ウェブ活用の安心度を高めたい。

E. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1. 芦田登代「ソーシャル・キャピタルと健康」
(招待講演) 2015年2月21日, 新潟大学工学部
2. Toyo Ashida, Naoki kondo, Maho Haseda, Katsunori Kondo, JAGES Project 「What health measures show large disparity by income levels?: prioritizing the targets of long-term care prevention.」(口演) 第25回日本疫学会学術総会, 名古屋市, 2015年1月.
3. 芦田登代・近藤尚己・近藤克則「組織への参加が要介護に与える影響: 社会経済状況の差異による検討(J)AGES プロジェクト」(口演) 第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木県宇都宮市, 2014年11月.

(その他)

芦田登代「健康とくらしの調査の知見を活かした地域づくり」御船町水越地域福祉推進モデル事業住民ワークショップ@水越公民館
2014年11月18日

F. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

日本老年学的評価研究 JAGES にご参加いただいている自治体職員の皆様、および研究者の皆様

お世話になっております。JAGES 東京事務局の芦田と申します。

暮れも差し迫ってまいりました。皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

さて、このたび、JAGES にご協力いただいている自治体の担当者の皆様や JAGES に関連する研究者の皆様をメンバーとして立ち上げましたこのメーリングリストでは、皆様が介護予防の取り組みを進めていく際のお悩みや参考事例などについて、ざっくばらんに意見交換をしていただければと思っています。どうかお付き合いいただけますよう、よろしく願います！

また、JAGES 事務局より、日々のご活動に役立ちそうな情報や最近の動向などについて、定期的に「メールニュース」としてお届けしたいと思っています。

さて、記念すべき第1回の「メールニュース」です！今回は介護予防の活動に役立ちそうな情報をいくつかご紹介したいと思います。

♪=====

お礼:調査へのご協力、ありがとうございました！

♪=====

皆様

大変お忙しい中、9月には「自治体施策に対する JAGES プロジェクトの効果評価のための調査」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様のご協力を賜りましたおかげで、現在回収率は**98%**となっています。

集計結果については、順次ご協力いただいた方々にご案内差し上げます。もう少しお待ちください。

また、個人の結果を全体の集計結果と比較して、わかりやすいように図で示した「個人結果表」をご希望されていた方には、先日、結果をお送りさせていただきました。皆様それぞれのお仕事上のストレスやチームワークの快適さ、保険施策を立案・運営する業務に活用していただけたら幸いです。万一、まだお手元に届いていないという方は、どうぞお知らせください。

♪=====

私のまちの健康課題は？ほかと比べてどうなってるの？

JAGES 調査結果を他の自治体と簡単に比較できる

「みえる化」ツールをご活用ください

=====♪

全国北海道から沖縄まで、約 30 自治体を対象として実施している JAGES の「健康とくらしの調査」の結果を、地図情報やグラフなどを使って「みえる化」し、地域診断書や市町村間比較ツールとして皆様に公開しています。

介護予防に関する各種指標（閉じこもり、社会活動状況などなど）について、約 30 の自治体（保険者）の間で比較することで、各地域の課題設定や解決の手がかりをつかんでいただくためのツールとしてご活用いただければと思います。今年度 2

再開催した「合同研究会」で既に結果をご説明したところですが、当日ご参加いただけなかった方も多く、まだご覧になっていない方もいると思います。

百聞は一見に如かず！ まずは以下のリンクより、ご覧下さい！

介護予防政策サポートサイト http://www.yobou_bm.umin.jp/

☞ 「より詳細な地域診断」部分の右側の「地域診断システム」をクリックしてください。

上記ウェブサイト内の「地域診断書」の見方については、以下をクリックして下さい。

☞ http://www.yobou_bm.umin.jp/cycle/200bmsichouson.html

♪=====

「健康と暮らしの調査」の分析結果がマスメディアに取り上げられました

=====♪

皆様にご協力いただいた JAGES「健康と暮らしの調査」のデータ分析結果が、続々と学術雑誌から論文として出版され、マスメディアからも注目されています！

運動やボランティアなど社会活動に参加しているお年寄りほど、要介護になるリスクが低くなる

<http://www.jages.net/#!/single-post/c3ju/3F11A99D-B854-4BC0-A11D-4401253E63A4>

スポーツや趣味の会で役割を担うとうつになりにくく、その効果は特に男性で強い可能性

<http://www.jages.net/#!/single-post/c3ju/399F5F49-5D37-496A-8B38-765D19EE180B>

♪=====

皆様の取り組みを教えてください！

=====♪

「健康と暮らしの調査」の結果や「地域診断書」をご活用され、実際の事業や取り組みに活かされた事例を集めています！

特に、データを活用したことによりうまくいった多部門連携の取り組みなどを共有していきたいと思っています。事例をお持ちでしたらぜひお気軽にご投稿ください！また、JAGES へのご要望等、なんでも一度ご相談ください！（投稿先：

renkei.ml@jages.net）

もし直接メーリングリストに投稿するのは少々ハードルが高いとお思いの方、一度事務局にご相談ください！事務局メールアドレスは：tokyoadmin.ml@jages.net です！よろしくお願いします。

===== ☆彡

皆様、今回(No.1)のメールニュースは、これで終わりです。最後までお付き合いいただきありがとうございました！まだ立ち上げたばかりのメーリングリストですので、皆様からのご意見を参考に、少しずつ改善をしていきたいと思っております。意見交換・ご感想・ご要望などございましたら、いつでもお待ちしております。

JAGES メンバーメーリングリスト：renkei.ml@jages.net

では皆様、インフルエンザの流行が今年は早いそうですね。お体をお大事に、よいお年をお迎えください！

芦田登代

JAGES 東京事務局 特任研究員

配信先変更・ご要望等の連絡先

配信先変更をご希望の場合は、お名前とご所属先、ご希望のメールアドレスを JAGES 東京事務局 (tokyoadmin.ml@jages.net) にご連絡ください。

また、このメーリングリストや JAGES に対しての忌憚なきご意見・ご要望もお聞かせ下さい！改善に努めます。

発行: JAGES 東京事務局

お問い合わせ先: tokyoadmin.ml@jages.net

資料: メールニュース vol.2

日本老年学的評価研究 JAGES にご参加いただいている自治体職員の皆様、および研究者の皆様

お世話になっております。JAGES 東京事務局の芦田と申します。

大寒の候、寒さが厳しく感じるこの頃ですが、皆様、お元気にお過ごしでしょうか？お正月はゆっくり休養されましたか？

お正月といえばお雑煮。「お雑煮のおもちは四角？丸？」「お餅は焼く？煮る？」「お雑煮はすまし汁？お味噌仕立て？」・・・事務局の新年会では、こんな話で盛り上がりました(#^_^#)。お雑煮は、非常に地域性がありますね。ちなみに関西出身の私の実家では、お餅は丸もち、煮て、白みそ仕立てのお雑煮です。皆様は、どんなお雑煮を召し上がられたでしょうか？

☆今回の内容☆

-
1. お知らせ ～このメーリングリストの登録者は？～
 2. ぞくぞく発信！「健康とくらしの調査」に関する最近の報道
 - ◆ばらばら入居 健康に影響～東日本大震災被災地より～
 3. 新着プレスリリース
 - ◆スポーツの盛んなまちでは転倒が少ない
 - ◆定期的なスポーツ組織参加で転倒予防
 4. お役立ち情報「介護予防政策サポートサイト」より
 5. 皆様の取り組み・お悩み、共有してください！
-

♪=====♪
お知らせ
=====♪

◆このメーリングリストの登録者は？◆

このメーリングリストには、JAGES にご参加いただいている 30 自治体(保険者)の、介護予防に関わる部署の担当者と、JAGES 研究者、あわせて 100 名ほどが登録されています。

☞ JAGES プロジェクトにご参加いただいている 30 の自治体(保険者)の一覧については、以下のウェブサイトをご覧ください。クリックして移動したページをスクロールしますと、出てくる「調査フィールド」に示しています。

<http://www.jages.net/#!about/c1ger>

今後、このメールニュースで研究者の素顔の紹介をしていきます。ご期待ください(^^)

♪=====♪

ぞくぞく発信！「健康と暮らしの調査」に関する
最近の報道

=====♪

皆様にご協力いただいた JAGES「健康と暮らしの調査」のデータ分析結果が、続々と学術雑誌から論文として出版され、また、各種メディアからも注目されています！

<最近の新聞報道より>

◆ばらばら入居 精神状態悪く…震災仮設住宅(読売新聞 2014 年 12 月 24 日)

<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=110003>

震災後、集団で仮設住宅に入居した人は、そうでない人に比べて有意に人間関係が保たれており、その結果精神状態が良い人が 2.5 倍多かったことが、東北大チームの分析で明らかになりました。

♪=====

新着プレスリリース

=====♪

年末年始にかけて、JAGES プロジェクトから公表された学術論文です。

プレスリリース・公表ページ:<http://www.jages.net/#blog/crdq>

◆転倒が 4 倍多いまちがある

スポーツ組織への参加割合が高い小学校区ほど転倒率が少ないことが健康と暮らしの調査のデータで示されました。

◆定期的なスポーツ組織参加で転倒予防

スポーツ組織へ週 1 回以上参加している人は、転倒リスクが 2 割以上少ないことがわかりました。

♪=====

お役立ち情報満載:「介護予防政策サポートサイト」

=====♪

あなたのまちの健康度、ほかと比べてどうでしょう？

「介護予防政策サポートサイト」では、健康と暮らしの調査の集計結果を基にした「地域診断書」を提供しています。

「健康と暮らしの調査」の結果について他の自治体と簡単に、塗り分け地図で比較できる「介護予防ウェブアトラス」の活用が広がっています！

介護予防政策サポートサイト http://www.yobou_bm.umin.jp/

☞ 右側中段の「地域診断システム」をご覧ください！

(閲覧には、各自治体のご担当者に配布したパスワードが必要です。)

「地域診断書」の見かたはこちら: http://www.yobou_bm.umin.jp/cycle/200bmsichouson.html

◆今後、どんどんバージョンアップしていきます。ほしい情報などのリクエストをお待ちしています！

♪=====

皆様の取り組み・お悩み、共有してください！

=====♪

「頑張った私たちの取り組みをぜひ紹介したい！」

「事業がうまくいかず悩んでいます…相談したい！」

こんなご意見をお待ちしています。お気軽に、このメーリングリストをご活用いただければと思います。

また、JAGES 研究チームでは、「健康とくらしの調査」の結果や「地域診断書」の活用事例、成功した事業、予想に反してうまくいかなかった取り組みなど、たくさんの事例を集めています！多くの事例からの学びが、これからの介護予防のまちづくりに生かされていくと思っています。

<特にいただきたい情報・ご意見など>

- ◆データを活用したことでうまくいった「保健・福祉」以外の部署との連携事例
- ◆行政と住民組織・企業などのコラボによる新しい介護予防の事例
- ◆その他、JAGES へのご要望など

投稿先: renkei.ml@jages.net

はじめは「ちょっと恥ずかしい・・・」という方、まずは事務局へご相談ください！

事務局: tokyoadmin.ml@jages.net

* 許可なくご相談内容をメーリングリストに流したり、他人へ知らせたりすることは一切いたしません。

今回のメールニュースはこれで終わりです。最後までお付き合いいただきありがとうございました。寒さはいよいよ本番。皆様どうぞご自愛ください。今年も、JAGES とお付き合いいただけますよう、よろしく願いいたします<(_)>

芦田登代

JAGES 東京事務局 特任研究員

配信先変更・ご要望等の連絡先

配信先変更をご希望の場合は、お名前とご所属先、ご希望のメールアドレスを JAGES 東京事務局 (tokyoadmin.ml@jages.net) にご連絡ください。

また、このメーリングリストや JAGES に対するの忌憚なきご意見・ご要望もお聞かせ下さい！改善に努めます。

発行: JAGES 東京事務局

お問い合わせ先: tokyoadmin.ml@jages.net

資料 JAGES メールニュース vol. 3

日本老年学的評価研究 JAGES にご参加いただいている自治体職員の皆様、および研究者の皆様

お世話になっております。JAGES 東京事務局の芦田と申します。余寒の候、春めいて参りましたが、今年は寒の戻りも厳しく感じます。いかがお過ごしでしょうか？

さて、ニュースレター(第3回)をお届けします！

JAGES 参加自治体連携メーリングリスト・ニュースレター(第3回)

☆今回の内容☆

-
1. 【最新情報】 JAGES 研究成果が報道されました「口腔の健康格差 1.3 倍」
 2. 【特集】 連携会議がうまくいく！:ご存知ですか?「リベレイティング・ストラクチャー」
 3. 【お役立ち情報】 高齢者の就労状況に関する全国調査結果など
 4. 「介護予防政策サポートサイト」のご紹介

5. お悩み・取り組み、共有しませんか



【最新情報】 JAGES 研究成果が報道されました。

「口腔の健康格差 1.3 倍」



JAGES「健康と暮らしの調査」のデータ分析結果が、共同通信社から配信されました(2015年1月)。

◆ 最長職と口腔状態との関係:技能・労務職、農林漁業職だった高齢者では、口腔の健康状態や歯科保健行動が不良な人が最大 1.3 倍多い。

詳細は、下記のページの上から 5 つ目のニュースです(プレスリリース番号:049-14-03)。

☞ <http://www.jages.net/#/cl20>

過去にも、「歯失うと認知症高リスクに 高齢者調査、かむ力も重要」というのが報道されています。歯は大切ですね！

☞ <http://www.47news.jp/CN/201101/CN2011012101000662.html>



【特集】 連携会議がうまくいく！

ご存知ですか？「リベレイティング・ストラクチャー」



リベレイティング・ストラクチャー(Liberating Structures:LS)とは、直訳すると「解放構造」ですが、コミュニケーションの改善創意工夫を意味するそうです。LSを使って、会議や集まりの場で、「問いかけ」や「対話の構成」「小道具」「空間の設定」を工夫することで、会議参加の皆が声を出し、コミュニケーションの質や、その成果をより良くするものとされています。

この間、JAGES 参加自治体のいくつかで、その LS のやり方を使って、多部署連携会議を実践し、私たちもその威力に驚きました！

熊本大学の河村洋子先生が LS のブックレットを作成しました！ご希望の方にブックレットをお分けします！数に限りがありますので、先着順です。お問い合わせは JAGES 東京事務局(tokyoadmin.ml@jages.net)までお願いします。

ブックレットで紹介されている 4 つの方法

- ①いつも最初に「速攻！ネットワーキング」
- ②LS の基本「ひとり、ふたり、4 人、そしてみんなで」
- ③心がつながる「経験共有金魚鉢」
- ④楽しい！「みんなでクラウドソーシング」

「ひとり、ふたり、4 人、そしてみんなで」とは・・・？

<やり方>

1. 出されたテーマに、まずは自分で考えをまとめる
2. ペアになりお互いの考えを共有し、ペアとしてのアイデアを出す
3. 2 つのペアが集まり 4 人グループに。各ペアでの考えを共有し 4 人グループのアイデアにしていく
4. 各 4 人グループから「特に際立った」アイデアを全体で共有するというふうに進めます。

このように、初めての人も、主体的に考え、すべての人が必ず発言できるように工夫されています。新しいアイデアなどを共有するのに役立ちます。多部署連携会議など、勤続年数や職階も異なるような多様なメンバーが参加するようになるときに、互いの距離を縮められる、とても役立つ方法だと思います！

♪=====

【お役立ち情報】 高齢者の
就労状況に関する全国調査結果など

=====♪

最近公表された統計等の情報を、こちらでもご紹介させていただきます。

◆統計でみる都道府県のすがた

都道府県別の主な指標値(平均余命や新別死亡者、自殺者数など)に順位を付けたもの

[http://www.e-](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&tclassID=000001056523&cycleCode=0&requestSender=search)

[stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&tclassID=000001056523&cycleCode=0&requestSender=search](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&tclassID=000001056523&cycleCode=0&requestSender=search)

◆2014年12月人口動態統計速報値

1年間の出生106万人、死亡128万人であり、22万人の人口減

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2014/12.html>

◆中高年者縦断調査

2005年から継続的に行われている調査です。調査の目的は、団塊の世代を含む全国の中高年者世代の男女を追跡し、健康・就業・社会活動について継続的に調査し、高齢者対策等の基礎資料を得ること。

<結果の概要>

就業状態の変化:この8年間で、「正規の職員・従業員」は減少、「自営業主、家族従業者」、「パート・アルバイト」はほぼ横ばい

これからの仕事の希望:65～69歳になっても仕事をしたい者は35.3%、70歳以降でも仕事をしたい者は15.0%

調査概要は下記のURLをクリック

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/29-6.html>

◆2014年度全国厚生労働関係部局長会議(厚生分科会)資料

政策統括官や医政局などのプレゼン資料が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2015/02/tp0219-1.html>

なかでも、介護保険に関する新しい資料は、下記になります。

(6)老健局PDFファイル(2015年2月23日)全国厚生労働関係部局長会議 プレゼン資料

☞ <http://www.mhlw.go.jp/topics/2015/02/dl/tp0219-06-01p.pdf>

♪=====

「介護予防政策サポートサイト」のご紹介

=====♪

再度の掲載になりますが、介護予防政策サポートサイトのご紹介です。

このサイトで紹介している町の健康度の地図は、環境や教育に関わってられる課の方が見ると、どんな意見が出そうでしょうか?聞かれた方は、その意見を教えてください。

「介護予防政策サポートサイト」では、健康と暮らしの調査の集計結果を基にした「地域診断書」を提供しています。

「健康と暮らしの調査」の結果について他の自治体と簡単に、塗り分け地図で比較できる「介護予防ウェブアトラス」の活用が広がっています!

介護予防政策サポートサイト http://www.yobou_bm.umin.jp/

☞ 右側中段の「地域診断システム」をご覧ください!

(閲覧には、各自治体のご担当者に配布したパスワードが必要です。)

「地域診断書」の見かたはこちら: http://www.yobou_bm.umin.jp/cycle/200bmsichouson.html

◆今後、どんどんバージョンアップしていきます。ほしい情報などのリクエストをお待ちしています！

♪=====♪
お悩み・取り組み、共有しませんか
=====♪

「頑張った私たちの取り組みをぜひ紹介したい！」

「事業がうまくいかず悩んでいます・・・相談したい！」

こんなご意見をお待ちしています。お気軽に、このメーリングリストをご活用いただければと思います。

また、JAGES 研究チームでは、「健康とくらしの調査」の結果や「地域診断書」の活用事例、成功した事業、逆に、予想に反してうまくいかなかった取り組みなど、たくさんの事例を集めています！多くの事例からの学びが、これからの介護予防のまちづくりを生かされていくと思っています。

<特にいただきたい情報・ご意見など>

- ◆データを活用したことでうまくいった「保健・福祉」以外の部署との連携事例
- ◆行政と住民組織・企業などのコラボによる新しい介護予防の事例
- ◆その他、失敗事例、JAGES へのご要望など

投稿先: JAGES 参加自治体連携メーリングリスト renkei.ml@jages.net

はじめは「こんな意見(感想)でも良いのでしょうか・・・」という方、まずは事務局へご相談ください！

事務局: tokyoadmin.ml@jages.net

* 許可なくご相談内容をメーリングリストに流したり、他人へ知らせたりすることは一切いたしません。

今回のメールニュースはこれで終わりです。最後までお付き合いいただきありがとうございました。3月に入れば、スギ花粉のピークが来るそうで、マスク必須の毎日になりそうです。

また、事務局では、次年度の保険者共同研究会の準備に取り掛かっています。こんなことしてほしい！あんなこと知りたい！とかリクエストをお待ちしています！

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

芦田登代

JAGES 東京事務局 特任研究員

配信先変更・ご要望等の連絡先

配信先変更をご希望の場合は、お名前とご所属先、ご希望のメールアドレスを JAGES 東京事務局 (tokyoadmin.ml@jages.net) にご連絡ください。

また、このメーリングリストや JAGES に対してご意見・ご要望もお聞かせ下さい！

発行: JAGES 東京事務局

お問い合わせ先: tokyoadmin.ml@jages.net